

平成30年第1回組合議会定例会及び全員協議会開催

□開催日時

平成30年2月19日（月）午後1時から

□場所

上越市役所 第1委員会室

《第1回組合議会定例会》

議案

○議案第1号 平成29年度分賦金額の変更について

一般会計補正予算第2号により27,809千円を減額し、平成29年度分賦金額を2,645,620千円に変更する旨を説明し、「可決」されました

・質問はありませんでした。

○議案第2号 平成29年度上越地域消防事務組合一般会計補正予算(第2号)

確定した事業費や決算見込みに基づき予算を精査し、追加の起債による財源の組み替え等を行い、構成市からの一般負担金である分賦金を減額するなど、歳入歳出予算の総額から25,764千円を減額し、予算総額を2,912,575千円とする旨を説明し、「可決」されました。

・質問はありませんでした。

○議案第3号 上越地域消防事務組合手数料条例の一部改正について

地方公共団体の手数料の標準に関する政令(平成12年政令第16号)の一部改正により、特定屋外タンク貯蔵所等に係る設置許可申請に対する審査手数料、完成検査前検査及び保安検査の申請に対する検査手数料を変更する旨を説明し、「可決」されました。

・質問はありませんでした。

○議案第4号 平成30年度分賦金額の決定について

平成30年度予算編成方針に基づき、構成市の負担を積算した旨を説明し、「可決」されました。

・質問はありませんでした。

平成30年度分賦金 (単位：千円)

構成市	分賦金
上越市	3,290,872
妙高市	716,084
合計	4,006,956

○議案第5号 平成30年度上越地域消防事務組合一般会計予算

平成30年度予算編成方針に基づき、上越地域の防災力向上の実現に向け、多様化・大規模化する災害に対して、迅速かつ的確に対応する組織体制を構築することを目的として、新庁舎整備事業を含む「重点事項(4項目)」及び「主要事業(7事業)」について説明し、「可決」されました。

平成30年度「予算編成に伴う基本方針」

わが国の経済状況は、緩やかな回復基調が続いているものの、地方財政を取り巻く環境は、依然厳しい状況に変わりなく、国の取組みと基調を合わせた歳出の重点化・効率化を進めていかなければなりません。こうした社会情勢のなか、多様化する消防需要、大規模化する災害に対して迅速・的確に対応しなければならず、中長期的な視点にたった防災機関として真に必要な事業を見極め、価値ある投資を実行することが行財政運営の効率化と上越地域の防災力向上に繋がるものであります。

新庁舎整備事業の着実な推進を図るなどの「重点事項4項目」と「主要事業の7事業」を掲げ、多様化する消防需要に的確に対応する組織づくりを強く推進する予算編成を進めるものとします。

【平成30年度一般会計歳入歳出予算】

4,294,217千円

(うち(仮称)消防本部・上越北消防署整備事業 1,417,290千円)

【重点事項】

- 1 新庁舎整備事業の推進と防災基盤の整備
 - 新庁舎整備事業の推進(継続事業)
 - 消防施設・設備の長寿命化及び維持管理
- 2 消防防災プロの育成
 - 消防車両・資機材の整備
 - 広域消防応援・受援体制の強化
 - 人材育成と能力開発の推進
- 3 専門部隊の充実・強化
 - 救急体制の充実
 - 特殊災害等の対応力強化
- 4 火災予防対策の強化
 - 住宅防火対策の推進
 - 事業所への防火対策の推進
 - 火災原因調査の強化

【主要事業】

- (仮称)消防本部・上越北消防署整備事業
- 非常用電源設備整備事業(高土所)

- 地下タンク高精度液面計設置整備事業（新井署）
- 屈折はしご付消防ポンプ自動車整備事業（頸南署）
- 消防ポンプ自動車整備事業（新井署）
- 高規格救急自動車及び高度救命処置用資機材整備事業（頸南署）
- 原調査察車整備事業（消防本部）

【質 問】

問【提案理由について】

提案理由の中に「価値ある投資」という言葉を使った理由を教えてください。

答 消防業務においては、人材のマンパワーを含めてすべてが価値ある投資であると考えています。今回は大きな予算で新庁舎を整備するとお願いしていますので、提案理由の中では新庁舎施設を含めて価値ある投資と発言させていただいた旨を答弁しました。

問【重点事項について】

重点事項の「消防防災プロの育成」の説明がありましたが、大きく分けて「消防車両・資機材の整備」、「広域消防応援・受援体制の強化」、「人材育成と能力開発の推進」の3つの柱になっています。説明では「消防車両・資機材の整備」が一番最初にきています。人的な対策であるので「広域消防応援・受援体制の強化」、「人材育成と能力開発の推進」が最初となるのが正しい姿と思うが、説明をいただきたい。

答 予算の8割近くが人件費であり、今回はこの順番で記載しましたが、人を育てることが1番と考えています。具体的には、階層別研修、OJT研修、自己啓発研修を3本の柱として、消防職員として必要な資質の向上を目指している旨を答弁しました。

問【地下タンク高精度液面計設置整備事業について】

新井消防署の地下タンクの工事について、消防省令の平成23年2月1日改正の流出防止措置と思いますが、流出防止措置にはいくつかの選択肢があったと思います。高精度液面計の設置で対応すると決めた理由を説明いただきたい。

答 省令改正により流出防止措置が必要となった地下タンクであります。選択肢には地下タンク内部のコーティング、電気防食措置、高精度液面計の3つがあり、いずれも法律上問題はありません。理由としては、消防署が24時間体制で常時職員が勤務していること、費用が約3分の1であることから決定した旨を答弁しました。

問【工事請負費について】

非常用電源設備設置工事と高精度液面計設置工事、その他の工事で13,034千円となっていますが、その内訳の説明をお願いします。

答 非常用電源設備設置工事は10,244千円、地下タンク高精度液面計設置工事については1,154千円で、その他の工事はエアコン設置工事等である旨を答弁しました。

問【人材育成について】

人材育成について、各種学校への入校等をあげていますが、今まで人材育成という観点から教育はしてこなかったのか。また、提案理由の中で、急速に進む世代交代とありますが、今現在の充足率を含めて全体のバランスをお聞きしたい。また、新庁舎になることでより人材が必要となるのかお聞きしたい。

答 人材育成の基本的な考え方から説明します。急速に進む世代交代により組織の弱体化が懸念されており、従前も人材育成は最重要課題として取り組んでいましたが、現状のスタンスではなく厳しい組織内の状況を踏まえてより強化していくというスタンスであります。職員は仕事を通じて様々な経験を行うことで成長でき、仕事を通して自らを成長させることができる職場環境づくりを、組織をあげて推進することが市民の安心安全、将来的なよりよい防災体制の整備につながると確信しています。このような意味から人材育成を第一と考え、経験豊富な職員が多くいるときに、技術伝承、知識の伝承を業務のなかから職員に伝えていきたいと考えています。

新庁舎の整備にあたっては、条例定数が297人であり、現在290人の職員がおります。現在の方針としては、290人体制を堅持していきたいと考えておりますが、女性職員の採用、高度な車両・資機材の運用など管内の消防力の適正を総合的に勘案して、290人から297人の範囲の中で、対応するかは今後の協議とさせていただきます旨を答弁しました。

《全員協議会》

議 題

- （仮称）消防本部・上越北消防署庁舎実施設計について
実施設計の完了に伴い、その概要について説明しました。

【質 問】

問【非常用発電設備について】

屋上に設置する発電設備の燃料は、ガスであるのか、石油類であるのか教えてください。また、発電設備の使用可能時間をお聞きしたい。

答 非常用発電設備の燃料は軽油であり、発電可能時間は168時間あります。

- 平成29年 火災・救急・救助の概況

平成29年の「火災・救急・救助の概況」について説明しました。

【質 問】

問【救急出動時間について】

救急出動について、平成29年の出動から現場到着までの時間はおよそ9.3分
となっていますが、一番短かった時間と一番長かった時間をお聞きしたい。

また、他の消防本部と比べて、9.3分は長いか、短いをお聞きしたい。

答 救急出動時間の最長時間と最短時間は、今現在把握しておりません。しかし、
今冬のような大雪により道路状況が悪い場合には、通常より長時間となり、その
場合には傷病者等に時間を要する旨をお願いしています。また、他の消防署の管
内であっても、救急現場により近い消防署から出動する等、より早い現場到着に
努めています。県内の救急車の現場到着時間は10分前後と思います。

出席議員

《議員》

内山米六議長 植木 茂副議長 野口和広 市川達孝 橋爪法一 草間敏幸
池田尚江 本山正人 小林和孝 渡邊 隆

《構成市》

村山管理者、入村副管理者、米持会計管理者

《消防本部》

消防長、次長、総務課長、消防防災課長、予防課長ほか 11 人